

大正十二年八月
團匪賠償金支拂延期ニ関
件(寫)

S

S210-1

91

H-0024

0068

秘

大正七年一月調

義和團事件賠償金延期関心参考書

理財局國庫課

S

8210-1

92

H-0024

0069

義和團事件賠償金延期に関する参考書目録

- 一 義和團事件賠償金無利息五年延期承認閣議決定
- 二 義和團事件賠償金延期に関する列国ニ於テ
確認決定シタル顛末並延期実行開始
時期等に関する外務省回答
- 三 延期實行に関する連名公書(署名方上奏申裁可
済儀)並支公使(訓電)方外務省ヨリ通牒
- 四 賠償金延期年限に関する閣議ニ先々大務省
ノ意見外務省ヨリ回答
- 五 賠償金延期年限に関する外務省(回答)
- 六 賠償金延期年限に関する閣會議決ニ本邦意見支公使
(訓電)方外務省ヨリ通牒
- 七 義和團事件賠償金本邦分償還年割表
- 八 支那賠償金受領済額調



8210-1

94



8210-1

93

H-0024



大正六年九月二十六日閣議決定
一 支那賠償金債券仕松無利息
五ヶ年延期承認ノ件

今回支那カ義和團事件賠償金仕松ヲ
無利息五ヶ年延期ヲ申出テタルニ就テハ
四圍ノ事情ニ鑑ミ國家大局ノ上ヨリ見聯
合國ノ態度ト歩調ヲ一ニシ我邦モ亦之ヲ
承認スルノ外ナキモ我邦ノ受領シタル該賠償
金債券ハ累表ニ國庫ヨリ之ヲ預金全部ニ
賣渡シタルモノニテ存付 承認ノ結果預金部
ハ毎年度決算上延期中ニ該債券ニ関シ
利子收入ヲ欲クコトナリ預金部特別會計
ノ性質ニ照シ一見稍々不穩者嫌ナキ非ス

S 8210-1 95

然レトモ條約ニ帝國憲法上 天皇大權ニ屬
ス條約ヲ以テ國家カ債務ヲ負ヒ又ハ債權
ヲ拋棄スルモ法律ノ制定ヲ待ツヲ要セス將
帝國議會合ノ協賛ヲ要セサルコト我憲法
上ノ正解ナリトス而シテ支那賠償金債券
ナルモノニ固ト義和團事件ノ賠償トシテ
支那ト關係列國トノ條約ニ依リ支那政府
ヨリ帝國政府ニ交付シタル債權証書ニシテ
該証書ニ依ル債權債務ノ關係ハ條約ニ
依リ發生シタルモノナルカ故ニ今支那政府ノ
要求ヲ承認スルコトカ我對外政策上必要
且有利ナラムニ一更ニ條約ヲ以テ當初ノ
債務履行ノ條件ヲ改定更スルノ關係上

S 8210-1 96

H-0024

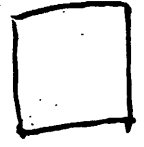
0071

可能適法ナルト共ニ之カ爲團庫カ其得ヘキ
 利益ヲ失ヒ又預金部カ其得ヘキ利益ヲ失
 フコトアルモ亦已ラテ得サル結果ナリ而シテ預金部
 ノ現狀ニ之レカ爲其ノ收支上團庫ニ負担ヲ
 及ホスニ至ラサルノミナラス又其ノ損失ヲ見ルニ至
 ラムカ預金規則才四條ハ團庫ニ於テ預金
 部特別会計ノ換益ヲ負担スヘキ旨ヲ明
 定セルヲ以テ結局預金部ノ存立ヲ危クスルノ
 惧アルコトナシ而シテ其ノ利息延期ヲ承認シタルカ
 爲預金部カ其ノ得ヘキ利子收入ヲ失ヒ即チ
 團庫債権ノ放棄トナルモ事條約ニ依ル以
 上ニ敢テ法律ノ新定ヲ要セス將タ又團庫
 カ預金部ニ對シテ其ノ損失ヲ補償スルニ至ル

S 8210-1 97

コトアリトスルモ豫メ帝國議會ノ憤憤ヲ經ルノ
 要ナシトス
 有題旨閣議ノ決定ヲ請フ
 大正六年九月十三日

大藏大臣勝田主計



内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

S 8210-1 98

H-0024

0072

ニ義和團事件賠償金延期ノ關係列國ニ於テ確認
決定シテ顛末並延期實行開始時期等ノ關スル
外務省回答(大正十年十月政機密送第三一三三号)
一 曩ニ支那政府ニ對シテ支那財政ヲ援助スル好意
聯合國政府ニ對シテ支那財政ヲ援助スル好意
ヲ以テ義和團事件賠償金ノ償還ヲ十年間
延期ニ十年後ニ原有金額ニ照シテ毎年連
次還付シ別ノ利息ヲ加ヘサルコト、致スル希
望申出アリ帝國政府ニ於テハ三百十萬圓儀
ニ於テ歐洲戰爭終了迄延期承諾才決
定シテ未だ關係國政府執中英國政府ト
協議ヲ進メタル知五月十三日英國政府ヨリ
帝國政府ニ對シ本年十一月ヨリ戰爭終結

S

8210-1

99

ノ五年後迄延期方提議シ來レリ

一 右對シ帝國政府ニ於テハ七月二十日閣議ニ於テ
義和團事件賠償金ニ支那政府ト協議成
立ノヨリ延期利ヲ付スルコトヲ五年間延期
ヲ承諾スルコト、先ツ英國政府ノ同意ヲ得タル
上左支公使ニ通報シ北京ニ於テ日英兩國公使
協同シテ自餘ノ關係國代表者ト會商セシ
ムキテ決定シ其旨英國政府ニ通告シタル
知同國政府ヨリ同意ノ旨回答ニ接セリ依テ
帝國政府ハ八月十七日左支公使ニ對シ右關係
國代表者ト會商方訓令シテリシカ其後左
北京聯合國代表者ニ於テ會議ノ結果九
月廿日附連名公文書ヲ以テ左支甲子符文

S

8210-1

100

通リ招定成立翌日以後白ク五年間
延期ノことニ主并上日意スキ旨支那外交
總長ニ通告シ支那政府ヨリ感謝ノ書面答
アリタルヨリ茲ニ本件ニ付ニ聯合國政府ト
支那政府ト向横定ラズスル順序ト成リ在支那聯合
國代表者ニ重ネテ會議ノ結果お我乙号
字又通リ存年十百一ヨリ千九百二十年
十百一迄延期方ニ関シ連名公文書案ヲ
作成シ之ヲ對シ支那政府ヨリ各別ノ領事ヨリ
回答ヲ受領スルキ旨ヲ決議シ右公文書案名
方今般在支公使ヨリ談判アリタリ能ク右標
取計方ニ関シ目下仰裁可奏請中ナリ
一 談公文書案外ニ三項償還方法ニ関シテハ

S 8210-1 101

初在支北京各國代表者會議ニ於テ延期期間
中ノ年賦額ノ償還ニ其付五年間延期ニ即
チ千九百四十五年至リ全部満期トナスことニ
一府決議シタリカ其後露國ニ支払ヲ延期
シタル賠償金ニ五年後ニ於ケル殘額賠償金
ノ年賦額ニ添加シテ還清セシムヘシトノ議アリ
又伊國ニ五年後直ニ延期金額ノ全部ヲ
還清セシムヘシトノ意見ヲ有シ他ルヲ以テ結
局償還ニ五年後之ヲ要求スルコトヲ得ヘク
其方法ニ関シテニ關係各國ニ於テ各自決定シ
五個ノ年ノ延期期間満了前ニ之ヲ支那
政府ニ通告スルコトニ決定シタリ

S 8210-1 102

H-0024

0074

甲号(譯文)

在英聯合國代表者ヨリ支那國政府ニ送付セル千九百十七年九月七日
附連名公文書抜録

前略

一九〇一年賠償金ニ対スル露國ノ分前ニ他ノ聯合國ノ分前ニ比シ頗ル多額ナルヲ以テ支那ニ對シ他ノ聯合國均等ニ友誼ヲ表明シタキ希望ヲ有スル露國政府ハ支那カ露國ニ對シ負担スル年額中他ノ聯合國ノ延期スルキ平均額ニ相當スル程度ノ仕松延期ニ同意ス聯合側各本國ノ分前ノ割合ヲ計算スルニ前記ノ平均額ハ支那カ年々別國ニ仕松フ總額ノ百分九

五九三ニ相當ス賠償金總額ニ對シ百分六五ノ分前ヲ有スル露國ノ前記各六國分前ノ平均額タル百分九五九ニテ四捨五入シテ百分百ト為シ右ノ割合ヲ以テ他ノ聯合國ニ對シ豫定セラレタル條件ニテ五ヶ年間仕松ノ停止ニ同意ス
以下略

S 8210-1

104

S 8210-1

103

H-0024

0075

乙号 (譯文)

在北京聯合國代表者ヨリ支那

外交總長宛送名公文書案

自身義國、佛蘭西國、大不列顛國、伊太利國

日本國、葡萄牙國及露西亞國ノ代表者ハ千九

百年賠償金ノ年賦償還ヲ五年間ニ

利子延期ノ主義ニ致シタルニ付右措置ノ實

行方ニ関シテノ通決定スルコトニ協定セリ

該賠償金ノ支払ハ千九百十七年十一月一日ヨリ

千九百二十三年十一月一日迄停止セラルヘシ

右延期シタル年賦支払金ノ總額ハ前記

期限ニ至リ償還ヲ要求スルコトヲ得(ラザル)

償還方法ニ関係各國ニ於テ各自決定シ

期限前ニ之ヲ支那政府ニ通告スヘシ

千九百年賠償金中露西亞國ノ分ニ関シテ

九月七日附右國送名公文書ニ定メタル定額

ニ付シラノミ支払ヲ停止スルモノトス

上記次第ヲ支那政府ニ通告スル際ニ聯合國

政府代表者ニ関下ニ於テ右次第ヲ領承セリ

且關係各國公使ニ對シテ本通告受領ノ旨

回答アラムコトヲ請求スルノ光榮ヲ有ス



8210-1

106



8210-1

105

H-0024

0076

三延期實行ニ関スル連名公書ハ署名方上奏
即裁可済ノ儀其在支公使ハ刻電方外務
省ヨリ通牒天正三年十月改機密送才三四号

客月十七日付政機密送才三三三号ヲ以テ交渉ノ
顛末並延期實行開始時期等及市通報
置矣本件ハ其後上奏即裁可ヲ得矣付
在支公使ニ対シ前掲往信添付乙号連名
公文書ニ署名方刻令致置矣慶今回全
公使ヨリ在北京間係各國公使署名上
十一月三十日付ヲ以テ支那外交部ニ送付
スルコトニ決定セル旨報告有之矣間在茲ニ
及市通報矣也



8210-1

108



8210-1

107

H-0024



四 賠償金延期年限ニ関シ閣議ニ先ツテ
大藏省ノ意見外務省ヨリ問合せ

義和團事件 賠償金延期ニ関スル
件ニ関シ別紙字ノ通り在支公使ヨリ電稟
ノ次第有之右ニ追テ閣議ニ於テ論議ヲ經
タレ上回刻ノ遅ニト相成ルニト、思考致テ度
右閣議ニ先キ本件ニ関スル貴方御意見彙
知致度矣問何分ニ義至急御指示相成度
此段申進矣也

追而左支公使未電才一七二九号冒頭ニ
引照シアル日公使未電才一六八二号ニ其
字既ニ貴方ニ御送付済ニ有之矣

間右様御承知相成度為念申添矣

S 8210-1

110

S 8210-1 109

H-0024

0078

北京泰大正五年十月廿七日右ニシヨ
本署着
本野外務大臣
林公使

第七二九号

往電才三三三号ノ関シ本日十五日附覚書ヲ以テ
概略別電才三三三三号ノ通外交部ヨリ申越シタ
ル所支那側ノ申分ハ相考理由アリト認めラルル、
ニ付帝國政府ニ於テ應諾セラルル、方可然ト存ス
愈右様申決定ノ上、其ノ内開催セラルル、キ公
使會議ノ席上存使ヨリ支那側ノ申出應諾
方ヲ提議シ從來ノ行掛リ上各團公使會議
ノ同意ヲ見ルニ至ラサル場合ニ本使限リ直
接外交部ニ向テ應諾ノ旨回答スルコト、
致シタシ申論議ノ上何分ノ義申電刻

ヲ請フ



6210-1

112



6210-1

111

H-0024

0079

北常陸大正五年十一月十日午後三五
本省着
本野外務大臣
林公使

第一七三〇号 別電

各國公使ニ於テ義和團賠償金ノ支払ヲ五ヶ
年間延期セラレタル好意ニ支那政府ノ深ク
感謝スル所ナルモ若シ五ヶ年ノ後ニ至リ該
延期總額ヲ一時ニ請求セラレ支那政府ニ於
テ之ニ應ジ得サル場合ニハ寧ろ尙初ヨリ延期
セザルヲ優レリトスル結果トナルヘキニ付該延期
ヲ承認セラレタル趣旨ニ顧ミ前記賠償金ノ
支払年期限ヲ一九四〇年末ヨリ一九四五年末
迄延長シ支那側ニ於テ夫レ以前ニ却合付
カバ隨時支払ニ差支ナキコトニ承認ヲ得タシ
ト



8210-1

113

H-0024

0000

本署 大正三年十月六日

本野外務大臣

林公使

才一六八二号

十月五日英國公使ノ本使ニ詰ル處ニ依レテ今日
全公使カ別用ヲ以テ外交総長ニ會見ノ際總
長ニ賠償金支払延期問題ニ言及シ聯合
國カ支払延期ニ全意セラレタル支那政府ノ感
謝ニ堪ハサル處ナルカ今時ニ本件ニ関聯シテ
支那政府ノ最苦慮スル處ハ右期間経過
後延期々間ニ於ケル債金還済ノ方法及時
期ノ問題ニシテ方一關係諸國ヨリ一時ニ并濟ヲ
要求セラレ、本トモナラバ支那政府ハ非常ナル
窮地ニ陥ルカニシテ本問題ハ極メ今日ヨリ

S

8210-1

114

12

關係國政府ノ好意的考慮ニ訴ヘサル可カラ
サル處ナル旨語リタル趣ナリ本件 還済ノ方法ニ
関シテハ仙國公使ハ右期間経過後三四年中ニ
年賦債還セシム可シトノ意見ヲ有シ伊國公
使ハ五箇年後ニ於テ五ニ支払停止期間ノ
債金全部ノ支払方ヲ主張シ又九月一日ノ
公使會議ニ於テ一旦決議ヲ經タル方法即チ
債還ヲ順次延期ニ結局債金全部ノ債
還ヲ千九百四十五年迄延長スルノ義ハ
當時英國代理公使ノ賛同シタル處ナルモ
遂ニ各國公使ノ義ヲ纏ムルニ至ラズ為ニ右
還済ノ方法ニ関シテハ其期ニ至リ關係各國
ト支那政府トノ協議ニ依リ各別ニ決定スル

S

8210-1

115

H-0024

0001

事ニ折合タル次才ナルが今固前記外交経長
ノ申出ヲ概トシ本件ハ其内再ヒ外交團議
ニ上ル可キカトモ察セラケる慶延期々間ノ終
結ト共ニ直ニ延期々間ノ債金全部ヲ償還
セシメントスルカ如キハ支那政府ノ痛苦ハ勿論
既ニ財政救済ノ見地ヨリシテ延期ノ主義ニ
全意ニシタル精神ニモ反戾スル次才ニ有之
旁々帝國政府ニ於テ本件ニ関シテ成
支那政府ノ希望ニ対シテ好意的考慮
ヲ加ヘラル、様致度シ

十三



8210-1

116

H-0024

0082

土賠償金延期年限ニ関シ外務省一回答

(大正六年十月秘電第三三三三号)

本月二十日附政機密送才三九八号義和團
事件賠償金延期ニ関スル件了業支那
政府ノ申出ハ一應ノ理由アリト認めテ其得共
賠償金延期総額ノ任松年期ヲ一九四〇年
末ヨリ一九四五年末迄延長ノ儀ハ右延期
総額ノ再後ノ償還期間十ヶ年ニ年賦
償還セシムルヲ以テ穩當ナル措置ト存候依ッテ
公使會議ニ於テハ先ツ右ノ案ヲ主張シ若シ他
國カ總ニ支那政府ノ提案タル五年延長
トシテ異議無之ニ於テハ本邦モ之ニ同意ス
外無之ト存矣右ノ意見及回答也



8210-1

117

H-0024

0083

國別賠償金任拂返明額 (單位: 海關兩)

國別	自明治三十年至三十四年每年任拂返明額	明治三十五年以後任拂返明額
日本	一、八三九、三〇三	九、四五一、二四二
英國	二、七五四、一八五	一、三七七、九二五
佛國	三、八五六、三七五	一、九二八、八七五
露國	七、〇九三、三九〇	一、三二四、一九〇
伊國	一、四四八、一九〇	七、二四〇、九五〇
白耳義國	四、六六二、二〇〇	二、三〇八、一〇〇
葡萄牙	五、一〇九	二、五五五
米蘭	七、二七二、〇〇八	三、六三六、〇四〇
西班牙	一、八三九、〇一五	六、七九六、五七八
和蘭	四、二五五、三	三、六八一〇
其他諸國	八、一四三	四、七一一
瑞典、挪威	三、四一八	一、七〇九
合計	六、一四七、六	三〇、七三八
合計	一、八三〇、〇四九	六八、二六三、九五八

備考

一、本年十月分元利息前拂ニ付スル利子ヲ控除シテ払込イハヤモノニ付奉却分リ之ヲ計算控除シタリ他諸國ノ分ニ就テハ其計算ノ者キ月賦額ヲ其終計上シタリ

二、露國ノ分ハ本年九月七日付各國公使連名公文書ニ定メタル所ニヨリ同國ニ對スル賠償金分配率百分六九・三六ノ内一〇・テ返却スルモノトシテ計算ヤリ

H-0024

0084

三
 五
 年ノ任持延明額ヲ大正十二年乃至
 二十九年ノ十八ヶ年百ニ割出ツルトキ、廿一ヶ
 年分左ノ如シ
 一) 聯合諸子ノ任持延明協合 三、七、五、三、六、五、兩
 四) 中立諸國ニ延明業認ノ場合 三、七、六、二、四、四、二



8210-1

120

H-0024

0085

六、賠償金延期年限ニ関シ列國會議ニ於ケル
本邦ノ意見在支公使ハ訓電方ニ付外方
省ヨリ通牒（大正二年十月政機密送方ニ号）

延期後ノ義和團事 麦賠償金償還
方ニ昇シ大正二年十月十日附官房秘乙方ニ四
二年ノ貴信ヲ以テ貴者ノ意見ハ内閣示ニ
相成リ了悉右ニ昇シ別紙字ノ通リ在支帝
國代理公使ハ電訓致責右在字茲ニ及内
送付上書也



8210-1

121

H-0024



大正七年一月六日 本名 発

左支

芳澤代理公使

本野外務大臣

方六号

貴電が一九一九年及一九二〇年ニ辱し支那政府
ノ申分ハ一應ノ理由アリト認マランモ帝后及政
府ニ於テハ五箇年ノ延期期有以後ノ残額ノ
償還期有即一九二〇年ヨリ一九二四年
ニ至ルニ至ルニ年賦償還セシケルヲ以テ徳者
ナリト思考スルニ付駐在國使臣會議ノ苦
貴府ヨリ先ツ右ノ案ヲ提議セラシ交但
萬一鼻係諸君ニ於テ總テ支那政府ノ希

S

8210-1

122

望セン通一九二四年末迄延長ノ事ト同意
スルニ於テハ帝后モ之ニ同意スルニ異存ナシ
從テ會議ニ致ラ見ケル曉ニハ帝后政府トシ
テハ前掲十八年ノ刻當償還方支那政
府ニ声明スル様取付シタシ

S

8210-1

123

H-0024

0087

清國債券償還金年割表

年次	償還高	元金内		利率	
		上半	下半	上半	下半
明治三十五年	二〇四八三九四〇〇	九〇三三八	三〇四	九七九〇七七四	八三
全三十五年	〃	九三八四八	八八	九七七二七三	〇六
全三十七年	〃	九七六〇一	八〇	九七五三九六	一〇
全三十八年	〃	一〇一五〇五八	八六	九七三四四四	〇七
全三十九年	〃	一〇五五五五〇	一〇	九七一四一三	九五
全四十年	〃	一〇九七八八	七四	九六九三〇二	六三
全四十一年	〃	一一四一八〇	三〇	九六七一〇六	八五
全四十二年	〃	一二八七四七	五〇	九六四八二三	五五
全四十三年	〃	一三三四九七	四〇	九六二四四八	三〇
全四十四年	二二四四七三	二四四八七	〇二	九六九七七八	三九
全四十五年	二二四四七三	二五四六〇九	七〇	九五五〇八二	〇一
明治四十六年	二二四四七三	二六四七九四	〇八	上各半券九四九九八	八二
全四十七年	〃	二七五三八五	六六	九四四六九三	九三
全四十八年	二五三三九〇六	六五四三三	五五	九三九一八六	三三
全四十九年	二六三三三〇九	八一三二四	〇三	九二六〇九五	五三
全五十年	〃	八四三七六六	五九	九〇九八六九	二五
全五十一年	〃	八七五七一七	二七	八九二九九三	九一
全五十二年	〃	九一二六一七	九五	八七五四四三	五七
全五十三年	〃	九四九二二二	五七	八五七一八一	三二
全五十四年	〃	九八七〇八七	五七	八三八二〇八	七六
全五十五年	〃	一〇二六五七一	〇九	八一八四六七	〇〇
全五十六年	〃	一〇六七三三三	九三	七九七九三五	九八
全五十七年	〃	一一〇三三九	二九	七七六五八二	九〇
全五十八年	〃	一一五四七五二	八五	七五四三七六	二二



8210-1 125



8210-1 124

H-0024



各國債額償入金額調表

國名	金銀 百分比	各國外債額 要 求 高 海 外 債 (甲)	償還決定高 海 外 債 (乙)	要 求 高 海 外 債 比 率 (丙)
獨逸	20.1567	92,340,962	90,700,150	20.0084
英吉利	18.8766	40,950,174	40,000,920	19.1597
白耳義	18.4511	8,780,000	8,000,000	19.0105
西班牙	0.3007	1,380,000	1,330,000	0.3075
合衆國	7.3979	33,970,722	33,970,722	7.3979
仏蘭西	15.7072	72,000,000	70,000,000	15.1175
葡萄牙	2.2491	27,780,822	26,000,000	11.5839
伊太利	0.0050	9,430,000	9,000,000	2.1104
日本	99.1489	27,270,000	25,710,000	93.8997
和蘭	0.1738	100,000,000	78,100,000	17.9000
露西亞	28.9736	133,340,000	130,370,000	29.8187
露西亞 聯邦	0.0199	2,730,000	2,380,000	4.8497
露西亞 聯邦	0.0336	22,330,000	14,970,000	4.8497
露西亞 聯邦	0.0336	22,330,000	14,970,000	4.8497
合計	100.0000	460,290,930	450,000,000	97.7639



8210-1

129



8210-1

128

H-0024



寫

1007

大山正多官サキ
大蔵省口名簿

今日閣議決定

在 小 支 公 使 内 田 大 臣

團匪賠償金支拂延期申出ニ關スル件

貴電第四四七號ニ關シ其後政府ニ於テ種々詮議ヲ遂ケタルカ大正六年支那政府ヨリ聯合國政府ニ對スル團匪賠償金ノ支拂延期方申出ニ關シテハ當時支那參戰問題交渉中ニモアリ突々關係國政府ハ同國政府ニ同意ヲ表

外 務 省

スル趣旨ヲ以テ五箇年間延期ヲ應諾スルニ至レル次第ナリ然ルニ今「支那政府ヨリハ財政窮乏ノ爲之カ援助ノ意味ヲ以テ更ニ延期ヲ申出テ來ル處前同トハ事情全然異リ居ルニ付テハ兩者ヲ混同スルハ甚面白カラサルノミナラス本年秋ヨリハ關稅現實五分増徴モ實施サルルニ至ルヘキヲ以テ團匪賠償金ヲ支拂フコトトナルモ財政上今日以上ニ苦痛ヲ増スコトハ可無之將又他國側ニ於テモ佛國ハ現ニ延期不承諾ニ決定シ居ルカ如クナルヲ以テ團匪賠償金延期ハ本年十二月一日ヲ以テ打切り其ノ後ノ賠償金ハ豫定ノ通支那政府ヲシテ支拂ハシムルモ帝國政府ハ從來ノ方針ニ基キ右金額ヲ日本ノ爲使用スルコトナク手續上一旦日本政府ノ歳入トシテ受入ルルモ歳出豫算ノ成立ヲ待テ全然對支文化事業ニ用フルコトト致度キ所存ナリ（對支文化事業ノ内容ハ豫算成立ノ曉ニアラサレハ確定セザ



8210-1

133



8210-1

132

H-0024

0092

ルコト勿論ナルモ大体

一、支那政府カ財政上ノ都合ニ依リ在本邦留學生ノ學費ヲ支出シ能ハサル
間ハ本件賠償金中ヨリ之ヲ支給スルコト

二、支那學生ノ教育ヲ主トスル同文書院ノ事業ハ更ニ之ヲ改良スルコトト
シテ本件賠償金中ヨリ適當ノ額ヲ支給スルコト

三、同仁會ノ事業ハ更ニ之ヲ改良スルコトトシ本件賠償金中ヨリ適當額
ヲ支給スルコト

四、東京ニ支那留學生ヲ收容スヘキ大寄宿舎ヲ二三ヶ所建設スルコト

五、對支文化事業ハ以上ノ外尙ホ他ニ施設ヲ要スルモノモ可有之且ツ十八
年ヲ經過セハ賠償金ノ支拂ナキニ至ルヘキヲ以テ其以後ニ對スル是等
文化施設ノ基金ヲ今ヨリ準備シ置クノ必要有之ヘキニ付殘餘ハ之ニ充

外務省

當スルコト

以上五項ハ貴官限リノ御含ミトシテ此際ハ支那側ニ通告セラレサル様致
度シ一就テハ貴官ハ以上ノ趣旨ヲ以テ支那側ニ對シ一應御回答相成様致
度シ



8210-1

135



8210-1

134

H-0024

0093